

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 そーせいグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4565 URL http://www.sosei.com/

代表者 (役職名) 代表執行役社長(兼取締役)CEO

(氏名) 田村 真一

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役副社長

(氏名) 前川 裕貴

TEL 03-5210-3290

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第2四半期	131	—	△2,012	—	△2,117	—	△1,856	—
20年3月期第2四半期	70	△94.3	△3,333	—	△3,307	—	△3,168	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△15,746.12	—
20年3月期第2四半期	△26,978.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	％	百万円	％	％	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	14,513	—	13,943	—	95.0	—	116,942.24	
20年3月期	17,403	—	15,782	—	89.4	—	132,002.67	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 13,786百万円 20年3月期 15,562百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	190	—	△3,180	—	△3,180	—	△3,180	—	△26,973.61

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)

除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 117,893株 20年3月期 117,893株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 —株 20年3月期 —株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 117,893株 20年3月期第2四半期 117,581株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績予想に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、日本及び英国の子会社（日本：株式会社そせい、英国：Sosei R&D Ltd.）を中心にグローバルに医薬品の研究開発事業を展開しております。

収益面では、当社グループは安定した収益が期待できる上市品を現時点では有していないため、当面は、開発の進展に応じて当社グループに支払われるライセンスアウト先からのマイルストーン収入（NVA237/QVA149、AD923）、当社グループの開発品を新規に導出（販売提携を含む）した場合に見込まれる契約一時金及びマイルストーン、並びに緊急避妊薬（NorLevo[®]）のサンド社（オーストラリア）への販売収入等に依存する格好となる見込みです。

ノバルティス社に導出したNVA237/QVA149のマイルストーン総額は187.5百万ドル（約200億円）ですが、当社グループは上市までに約100億円、上市後の販売マイルストーンとして約100億円、加えてノバルティス社の売上高の一部をロイヤリティとして受領できる契約となっております。

ムンディファーマ社に導出したAD923につきましては、マイルストーン17.5百万ポンド（約33億円）と、ムンディファーマ社の売上高の一部をロイヤリティとして受領できる契約となっております。

しかしながら、AD923における欧州の第Ⅲ相臨床試験の一時中断に伴い、当社グループが極力開発費負担をしない形でアウトライセンスする方針に変更したため、契約内容の見直し等により上記金額が変動或いは既に受領済の契約一時金、マイルストーンの一部を払い戻す可能性があります。

当第2四半期連結会計期間の営業収益といたしましては、導出先からのマイルストーン収入、並びにその他の開発品の新規導出（販売提携を含む）に伴う契約一時金収入はなく、NorLevo[®]（緊急避妊薬）のサンド社（オーストラリア）への販売収入（66百万円）等を計上しております。

営業費用といたしましては、医薬品の研究開発費、Sosei R&D Ltd. 買収に伴い発生したのれんの償却額（償却期間は平成17年8月より平成27年8月までの10年、年間償却額は約16億円）等を計上しております。

当社グループでは企業価値の一層の増大を図るべく、前連結会計年度まで年間40億円程度の資金を研究開発費に継続して投資してまいりましたが、当社グループの現時点における財務状況、資金調達環境の悪化、AD923の欧州における第Ⅲ相臨床試験を一時中断せざるを得ない状況に陥ったこと等から、当該方針を改め、当面はリスクを抑制して将来の事態好転に備えた事業運営を行っていくことを平成20年5月に公表いたしました。この方針に基づき、研究開発費を大幅に削減すると共に、Sosei R&D Ltd. を対象として大幅な人員削減、現サイトの閉鎖移転を実施し、グループを挙げて経費削減に取り組むことで、販売費及び一般管理費の低減を進めております。なお、当該ストラクチャリングによるコスト削減効果は、平成21年3月期第3四半期以降本格的に現れる見込みです。

なお、Sosei R&D Ltd. のストラクチャリング関連費用（537百万円）を、前連結会計年度（平成20年3月期）に事業再編損失として特別損失に計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高131百万円（前年同期比87.4%増）、営業損失2,012百万円（前年同期営業損失3,333百万円）、経常損失2,117百万円（前年同期経常損失3,307百万円）、四半期純損失は1,856百万円（前年同期四半期純損失3,168百万円）となりました。

販売費及び一般管理費の総額は2,024百万円（前年同期比39.3%減）であり、そのうち研究開発費は661百万円（前年同期比64.1%減）、のれん償却額は794百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

なお、前年同期の数値につきましてはご参考として記載しております。

所在地別セグメントの業績については、国内の外部顧客に対する売上高が67,193千円であり、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%を超えております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,889百万円減少し14,513百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,060百万円減少し3,409百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末に比べ829百万円減少し11,104百万円となりました。これは主にSosei R&D Ltd. 買収に伴い発生したのれんが、償却により794百万円減少したことによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末ののれんの残高は10,984百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,051百万円減少し570百万円となりました。株主資本は前連結会計年度末に比べ1,856百万円減少し12,969百万円となりました。これは主に、四半期純損失計上によるものであります。

以上より、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ5.6ポイント上昇し95.0%となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△1,998百万円（前年同期△2,325百万円）となりました。主たる理由は、税引前四半期純損失2,007百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、0.03百万円（前年同期△39百万円）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローの増減はありませんでした。（前年同期比33百万円）

なお、前年同期の数値につきましてはご参考として記載しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成20年5月14日に公表した「経営戦略の見直し」に基づき、今後数年間に亘って年間40億円程度の研究開発費を投下し続けるという従来の計画を抜本的に改め、研究開発費、固定費を大幅に削減するために、英国子会社のSosei R&D Ltd.を中心とする大規模なリストラクチャリングに着手いたしました。その後、当該リストラクチャリングは計画通り進展し、平成20年10月末に完了いたしました。この結果、下半期の研究開発費、固定費は当第2四半期連結会計期間に比べて更に減少する見込みであります。

売上高につきましては、SOH-075（適応：緊急避妊）の販売提携に伴う契約一時金を反映しておりますが、下半期のサンド社向けのNorLevo出荷額が不透明なため、当初計画通りとしております。

以上の理由により、平成20年5月14日に公表しました連結業績予想の見直しは行っておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- (4) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い
第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,907	4,907,939
売掛金	100	68,048
その他	500,021	493,513
流動資産合計	3,409,030	5,469,501
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,804	76,828
工具、器具及び備品	4,692	35,071
有形固定資産合計	72,497	111,900
無形固定資産		
のれん	10,984,348	11,778,398
その他	10,309	6,332
無形固定資産合計	10,994,658	11,784,731
投資その他の資産		
その他	37,702	37,691
投資その他の資産合計	37,702	37,691
固定資産合計	11,104,858	11,934,323
資産合計	14,513,888	17,403,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,802	57,802
未払金	230,736	405,862
未払費用	266,442	1,108,933
未払法人税等	2,739	4,606
その他	14,631	44,219
流動負債合計	570,353	1,621,424
負債合計	570,353	1,621,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,965,805	16,965,805
資本剰余金	18,907,795	18,907,795
利益剰余金	22,904,390	21,048,032
株主資本合計	12,969,209	14,825,567
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	817,462	736,622
評価・換算差額等合計	817,462	736,622
新株予約権	156,863	220,210
純資産合計	13,943,535	15,782,400
負債純資産合計	14,513,888	17,403,824

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	131,832
売上原価	120,125
売上総利益	11,707
販売費及び一般管理費	2,024,650
営業損失()	2,012,943
営業外収益	
受取利息	8,563
雑収入	1,659
営業外収益合計	10,222
営業外費用	
雑損失	90
為替差損	114,257
営業外費用合計	114,347
経常損失()	2,117,068
特別利益	
固定資産売却益	256
新株予約権失効益	124,738
特別利益合計	124,995
特別損失	
固定資産除売却損	15,065
特別損失合計	15,065
税金等調整前四半期純損失()	2,007,138
法人税、住民税及び事業税	150,780
四半期純損失()	1,856,357

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	2,007,138
減価償却費	15,050
のれん償却額	794,049
株式報酬費用	61,392
新株予約権失効益	124,738
賞与引当金の増減額(は減少)	14,799
為替差損益(は益)	114,257
売上債権の増減額(は増加)	68,073
前払費用の増減額(は増加)	3,392
未収入金の増減額(は増加)	19,386
立替金の増減額(は増加)	18,996
未収付加価値税増減額(は増加)	12,614
未払金の増減額(は減少)	164,707
未払費用の増減額(は減少)	844,897
預り金の増減額(は減少)	14,377
その他	17,306
小計	2,052,925
利息及び配当金の受取額	8,563
法人税等の還付額	47,162
法人税等の支払額	812
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,998,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,282
有形固定資産の売却による収入	1,587
その他	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	319
財務活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,339
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,999,031
現金及び現金同等物の期首残高	4,907,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,908,907

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

当社グループは、第11期（平成13年3月期）に医薬品開発事業に軸足を転換して以来、企業価値を高めるべく医薬品の研究開発並びに平成17年9月における海外の医薬品開発ベンチャー企業（Sosei R&D Ltd.）の買収等に多額の先行投資を行ってまいりました。医薬品の研究開発事業には多額の費用を要し、また投資資金の回収も他の産業と比較して相対的に長期に及ぶため、ベンチャー企業が当該事業に取り組む場合は、一般的にキャッシュ・フローのマイナスが先行する傾向にあります。当社グループも創業以来継続的に営業損失を計上しており、営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度 △3,949百万円、当第2四半期連結累計期間においても △1,998百万円とマイナスの状況となっております。

一方当社グループは現時点において安定的な収益源を有していないこと、平成19年12月に資金調達を目的として新株予約権（行使による最大調達金額は約50億円）を発行したものの、行使の可能性は株価に依存していること等の状況を鑑みると、年間約40億円程度の研究開発投資を継続するという当社グループの前連結会計年度までの方針を継続する場合、現金及び預金残高は十分ではなく、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、従来の方針を抜本的に見直し、営業キャッシュ・フローの改善を図っております。

見直し後の経営計画の主な骨子は以下のとおりであります。研究開発費及びその他固定費の削減は計画通り進展しております。

- ① 開発品の絞り込みを行い、開発後期段階の開発品に優先的に経営資源を投下し、並びに、医薬候補品の探索（創薬）への投資を制限することにより、研究開発費を大幅に削減する。
- ② 開発後期段階であっても、多額の研究開発費を必要とする開発品AD 923（適応：癌性突出痛）については、アウトライセンス（癌性突出痛以外の適応及び器具の別用途も含む）、若しくは売却（当社グループが極力開発費を負担しない契約形態を想定）を検討する。
- ③ リスクの高いプロダクト・ディスカバリー事業から撤退する。
- ④ NVA 237/QVA 149及びAD 923を除く開発品のうち、Sosei R&D Ltd. で研究開発中のものについては、当社グループの研究開発費拠出を極力抑制しうる形態でアウトライセンス若しくは売却を検討する（但し、いずれの場合にもアジアの権利は留保する方針）。
- ⑤ インライセンスに関しては、当社グループの財政状況を見ながら、有望な後期開発候補品確保の検討も継続的に行い、ポートフォリオの新陳代謝を図ることにより、事業の継続性と企業価値向上の両立を図る。

厳しい状況ではありますが、将来の芽を育て、かつ投資リターン効率を上げる為に、海外の権利の一部も確保するという戦略も検討しております。

また、上記経営戦略の見直しに併せて、主にSosei R&D Ltd. を対象として大幅な人員削減、現サイトの閉鎖移転を実施し、グループをあげて経費削減に取り組み、支出を抑制しております。これらの施策により、今後仮に売上高が無くても2年以上の必要資金を賄う体制にいたします。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

医薬事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	131,832	—	—	131,832	—	131,832
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,832	2,014	4,846	△4,846	—
計	131,832	2,832	2,014	136,678	△4,846	131,832
営業利益（又は営業損失(△)）	△547,757	△1,464,091	△1,020	△2,012,868	△74	△2,012,943

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 欧州……英国
- (2) 北米……米国

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	オセアニア	計
I 海外売上高（千円）	130,312	130,312
II 連結売上高（千円）	—	131,832
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	98.8	98.8

（注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

オセアニア……オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高	70,341	100.0
II 売上原価	65,592	93.3
売上総利益	4,748	6.7
III 販売費及び一般管理費	3,338,096	4,745.5
営業損失 (△)	△3,333,347	4,738.8
IV 営業外収益		
1. 受取利息	64,456	
2. その他	1,131	65,588
93.2		
V 営業外費用		
1. 株式交付費	4,199	
2. 持分法による 投資損失	—	
3. 為替差損	35,547	
4. その他	—	39,747
56.5		
経常損失 (△)	△3,307,506	4,702.1
VI 特別利益		
1. 固定資産売却益	127	
2. 過年度事業税還付額	—	127
0.2		
VII 特別損失		
1. 関係会社出資金売却損	1,573	
2. 投資有価証券評価損	17,499	
3. 固定資産売却除却損	—	19,072
27.1		
税金等調整前中間 (当期) 純損失 (△)	△3,326,451	4,729.0
法人税、住民税及び事業税	△157,974	△224.6
中間 (当期) 純損失 (△)	△3,168,477	4,504.4

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間 (当期) 純損失	△3,326,451
減価償却費	20,135
のれん償却額	803,762
株式報酬費用	58,337
株式交付費	4,199
持分法による投資損失	—
関係会社出資金売却損	1,573
投資有価証券評価損	17,499
売上債権の減少額	35,353
未収入金の増減額	38,451
仕入債務の増減額	△7,983
未払金の増減額	23,761
未払費用の増減額	58,112
未払法人税等の増減額	3,938
その他	△119,074
小計	△2,388,384
利息の受取額	64,456
法人税等の還付額	—
法人税等の支払額	△1,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,325,903
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	—
出資金の売却による収入	12,606
有形固定資産の取得による支出	△56,056
無形固定資産の取得による支出	—
その他	3,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,505
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	33,550
その他	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,550
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	52,209
V 現金及び現金同等物の増減額	△2,279,649
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,955,202
VII 現金及び現金同等物の中間期末 (期末) 残高	6,675,553

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

医薬事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	49,766	20,574	—	70,341	—	70,341
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	33,142	14,475	47,618	△47,618	—
計	49,766	53,717	14,475	117,959	△47,618	70,341
営業費用	737,761	2,700,668	13,325	3,451,755	△48,066	3,403,689
営業利益（又は営業損失(△)）	△687,994	△2,646,951	1,150	△3,333,795	447	△3,333,347

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 欧州……英国

(2) 北米……米国

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

〔海外売上高〕

当中間連結会計期間（自平成19年4月1日 至平成19年9月30日）

	欧州	オセアニア	計
I 海外売上高（千円）	20,574	48,240	68,815
II 連結売上高（千円）	—	—	70,341
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	29.2	68.6	97.8

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 欧州……スイス

(2) オセアニア……オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。